

多層指導モデルMIMってなあに？

MIM (Multilayer Instruction Model) とは、

全体から個へ、すべての子どもたちに効果的な指導をすみずみまでとどけようとする、通常学級における学習モデルです。

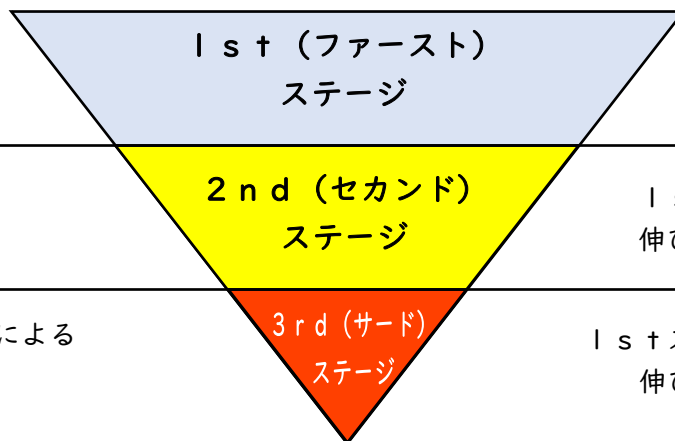
上田市では、小学校1年生を中心に、子どもたちの学習を支える「読みの力」について、子どもたちが学習につまずく前に、つまずきが大きくなる前に、より効果的な指導・支援ができるように「MIM」を取り入れていきます。

指導

通常の学級での効果的な指導

通常の学級内での補足的な指導と配慮

集中的、柔軟な形態による特化した指導



対象

すべての子ども

1stステージのみでは伸びが十分でない子ども

1stステージ、2ndでは伸びが十分でない子ども

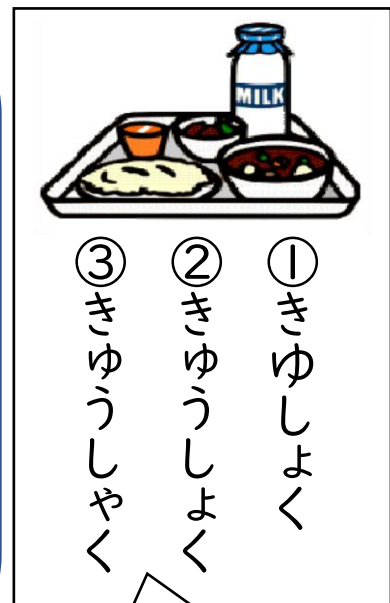
【アセスメント問題例】

MIMの指導は、上記のように3つのステージに分かれています。

「きって」や「おとうさん」のように小さい文字や伸ばす音など「特殊音節」を早く正確に読めるように、まず1stステージでは、動作化（拗音や促音に関して手を動かすなど）や視覚化を取り入れた特殊音節の「読み」の指導を行います。

2ndステージでは、通常の学級での一斉指導に加え、毎月のアセスメントで、十分に理解ができていないと思われる子どもに対して、通常の学級内で補足的な指導や配慮（座席の配慮、机間指導の重点化、個別や小集団指導など）を実施します。

3rdステージでは、2ndステージによる指導や配慮を実施しても十分な伸びが見られない子どもに対して、通常の学級の内外において、補足的、集中的に、個に焦点を当てた指導を行います。



ただしいのは どれ？

アセスメントについて

アセスメントは、月に1度程度実施します。このアセスメントは、子どもたちの読みについての実態を教師が知ることで、より個々の子どもに分かりやすい指導を行うためのものです。したがって、ご家庭で練習等の必要はありません。

ご不明な点がございましたら、各担任までご連絡ください。